

令和 7 年度 学校経営計画

唐津市立七山小中学校

学校教育目標	「感謝の心を持ち、自立に向かう子どもの育成」 ～ お互いを「思いやり」、一人一人が「輝き」、 小中一貫教育を通して自ら学び・考える力を伸長し、自己実現を目指す ～
--------	---



めざす学校の姿	めざす児童・生徒の姿	めざす教師の姿
① 「明るく楽しい」学校	① 「仲間を思いやり、仲良く助け合う」 児童・生徒	① 「努力し、信頼される」教師
② 「生き生きと活動する」学校	② 「礼儀正しく、生き生きと活動する」 児童・生徒	② 「学び続ける」教師
③ 「自ら学ぼうとする」学校	③ 「自ら、意欲的に学ぶ」児童・生徒	③ 「子どもと地域とともに歩む」教師



教育目標達成のための重点取組		
学力の向上	心の教育の充実	健やかな体と体力
1 教師の授業力の向上による児童・生徒の学力向上 ① 学習や指導スタイルの連続性 ② 校内研究の改善・充実 2 学習規律指導の一貫性 ① 立腰の指導と実践 ② 3 構えの指導と実践 3 基礎学力の定着 ① 朝の活動時間の改善・充実 ② 効果的な ICT 利活用 ③ 個別指導の充実 ④ 家庭学習の充実 ⑤ 読書活動の推進	1 生徒指導の充実 ① 生活規律の確立 ② 子ども支援会議の充実 ③ 実態把握と支援策の工夫 ④ 特別支援教育の充実 2 豊かな心の育成 ① 自他を思いやる心情の育成 ② 学校行事での交流の工夫 ③ 自主的・主体的実践力の育成	1 健康な体づくり ① 安全・安心な給食実施と食育の充実 ② 健康・安全教育の推進 2 継続した体力づくり ① 体育行事の充実と小中学校の連携 ② 部活動の充実と社会体育との連携 ③ 外部・地域団体との連携と行事等への参加推進

開かれた学校づくり	
1 地域との連携による学校教育のさらなる充実 ① 情報発信 ② 地域との交流促進 ③ 地域行事等への積極的協力	2 保護者・地域各機関と連携した児童・生徒の見守り ① 子ども 110 番の家の活用 ② 登下校時の交通・生活指導 ③ 安全教育・安全指導の充実

経営の基本方針	本校が、施設一体型の小中一貫教育に取り組むようになり 17 年が経過した。また、小学校入学から義務教育 9 年間を小中一貫教育で学んだ卒業生も 9 期生となる。児童・生徒や保護者、地域の中にもこの教育形態が定着している。 小学校最上学年(6 年生)としての自覚や中学生(7 年生)としての自覚を促すためのブロック制(3・3・3 制)を継続し、自立に向かう児童・生徒の育成を目指す。そして、児童・生徒、保護者や地域、教師の充実感が得られるよう、次のⅠ、Ⅱ、Ⅲのような学校づくりを推進していく。 Ⅰ 七山小中学校で学んだことを、児童・生徒が誇りに思い、「ここで共に生活できてよかった」といえる学校 Ⅱ 保護者や地域と連携し、開かれた信頼される学校づくりに努め、「七山に小中一貫教育の学校があってよかった」といわれる学校 Ⅲ 小中学校のよさを取り入れ、9 年間の子どもの育ちに関わることに幸せを感じ、教師が共に助け・学びあいながら、「この学校で仕事できてよかった」といえる学校
---------	---